

○高度急性期：2床減 ➡ 急性期：2床増について

- ・横浜市地域中核病院としての役割でもある救急医療については、限られた病床数で対応しているため、満床を理由による救急車の受入に至らない状況が続いている（※1）
- ・一般病床の病床利用率は90%を超えている一方で、GCU（新生児回復治療室）（※2）の病床利用率は50%台と低迷している
- ・そこで、GCU10床（＝高度急性期）のうち2床を減少し、この2床を救急搬送受入を行っている一般病棟（＝急性期）へ転換させることで、今後の横浜東部地域の医療ニーズに応える体制を整備したい

（※1） 2022年救急車不応需：2,900件

（※2） GCUは病床機能報告上、高度急性期に区分される

医療機関名称	項目														今後の方針										目標等													
	病床機能 (変更前2019年)						病床機能 (変更後2023年)						診療科目	常勤職員数	【参考】指定等の状況										診療科見直し	特記事項	病床稼働率	手術室稼働率	紹介率	逆紹介率	その他							
	病床機能(2025)						病床機能(2025)								その他		病床合計	精神病床	感染症病床	病棟稼働率	手術室稼働率	紹介率	逆紹介率	その他														
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	緩和ケア病棟									周産期救急医療受入病院	災害拠点病院	感染症指定病院	地域包括ケア病棟	在宅療養後方支援病院	病院機能評価認定	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計	精神病床	感染症病床
済生会 横浜市東部 病院	425	87	0	0	0	512	423	89	0	0	0	512	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	468	44	0	0	0	512	50	0	562	-	-	95.0	75.0	65.5	123.2	-